

いけ がみ さち こ  
池上 祥子さん(49歳)  
営農地:三潁郡大木町  
主な農産物:施設イチゴ



## 夫の後を継いでイチゴ経営



● 就農のきっかけ

### 嫁いで始めた農業

26年前、23歳の時、地元の少年の船のお世話役で知り合った夫から「一緒に田の草取りをしよう」とプロポーズされ、農家に嫁いだ池上さん。当初は義理の父母も元気で米麦のほかに地域の特産物であるイチゴ、イ草を栽培。平成4年に当時の農業青年の仲間4人と農事組合法人「FTMー」を設立。それぞれ、自分の家のイチゴ経営のほかに法人で雇用を活用したイチゴ1haの共同経営。夫がその代表を務め、とても大変だったそうです。また、平成7年には4人の雇用によりイチゴの面積を26aから43aまで拡大。そんな中、4人の子育てで奮闘。本格的に農業に従事するようになったのは、下のお子さんが小学校2年生になった平成14年頃からだそうです。

● 私の今～就農後の道のり～

### 夫の逝去で経営の主体に

当時43aのイチゴ経営規模は地域でも大きく、雇用を活用した経営は珍しかったようですが、大木町はキノコの法人など雇用型農業経営がいくつかありました。それまで雇用者と一緒に作業するだけだったそうですが、夫から「経理と雇用管理は頼む」と言われて大変うれしかったそうです。そんな最中、平成16年にイチゴの定植中、夫が急逝。大きな柱を失っての失意の中、周りの農家さんから助けられて、自身が主体となって経営を続けることを決意。面積を25aに縮小し、農協を通じた共同出荷組織から外れて個人で近隣の市場等に出荷。病害にやられたり、単価が安かったりと、大変に苦労されたそうです。

夫が逝去されて9年。イチゴの経営安定のため、いろんな篤農家さん等に話を聞き、出荷先の開拓にも走って、今、2名の常雇用と2名のパートを雇って、やっと経営が安定。

● これからの夢、目標

### みんなに喜ばれるイチゴ経営を

近隣市場のほか、福井県の生協にもイチゴを販売。特売を組んでもらえるほどに信頼を得ています。また、5年前から規格外のイチゴを冷凍して販売したり、コンフィチュール(ジャム)にして販売。今年は1.5tを加工に回されたそうです。インターネットを通じた販売やバニラビーンズ栽培にも挑戦中。自分が作ったイチゴで「おいしい」と言っていただけるお客様の声を励みにさらに経営発展を目指されています。今年2月に会社勤めの長男が就農し、イチゴの面積を拡大したり雇用が入れやすいように高設栽培を導入するなど、「夫が抱いていたイチゴ経営を、これから親子で実現できれば。そのためにも、もっと経営管理能力を高めなければ」と意気込む池上さん。



プロフィール

■家族構成/本人、子 ■営農年数/約26年  
■耕作(経営)面積/0.25ha ■販路/市場、生協等

### 就農を考えている女性へ♡

現在、大木町認定農業者協議会副会長、福岡県女性農村アドバイザーをしています。

今までの農業経営の経験や苦労で得た知識をもとに、これから農業をはじめようとする方に少しでもお役に立ちたいと思っていますので、ご相談ください。